

タッチラグビーW杯

スコットランド22日開幕

男子30歳以上

6月22日から英スコットランドで開かれるタッチラグビーのワールドカップ(W杯)男子30歳以上の日本代表に、福井市の愛好者、荒井章宏さん(34)が選ばれた。本県からの選出は初めて。荒井さんは「メダルを目指すと意気込み、自身が活躍し」「県内で「タッチ」を楽しむ人が増えれば」と期待している。

荒井さん(福井)代表

本県初選出「メダル狙う」

荒井さんは「タッチ」歴12年。大学時代はラグビー部だったが卒業後、東京でタッチラグビーに出会い「激しい接触プレイがなく、老若男女が一緒に楽しめる」魅力に引き込まれた。

荒井さんは「タッチ」に努め2008年に県内唯一のクラブチーム「越前がにんキーズ」を結成。この年から毎年10月に全国各地のチームを招いて、初心者講習会と交流戦を行っている。昨年、東京の強豪チームの招待を受けて、1昨年、東京の強豪チームの招待を受けて、荒井さんの男子30歳以上の部には今回オーストラリア、フィジー、ドイツ、フランス、南アフリカなど10カ国が出場。懸念たりの予選リーグ戦を行い、上位4カ国が決勝リーグに入る。



W杯タッチラグビーの日本代表に選ばれた荒井章宏さん

タッチラグビー 70cm×50cmのフィールドで8人对8人で戦う。スクラムやタックル、キックはない。一方が攻撃権を持ち、他方がタッチで攻撃を止める。攻撃権を持つ方は6回タッチされるまでにトライしなければならない。6回タッチされた時点で攻撃権は移動する。ベンチ入りは14人、選手交代は何度でもできる。

W杯は1988年の第1回大会が発祥地オーストラリアで開かれて以来、4年に1度開催。日本は第3回大会から参加、第5回大会は日本で開かれた。今回は年齢制限のない男子オープン、同30歳以上、女子、男女混合など7クラスに30カ国約90チームが出場。日本は前回大会で男子オープン4位、同30歳以上6位の成績を残している。

「各クラスの代表の中には競技歴わずか3年の人もいるし、35歳以上のクラスに40代後半の選手も名を連ねている。年齢に縛られず、割と身近に日本代表を狙えるのがタッチラグビー。県内で関心を寄せる人が増えてくれ」と話している。

に進む。日本は22日のウェールズ戦が初戦となる。予選9試合を4日間で戦い、1日に3試合をこなさなければならない日もある。荒井さんは「ハードな日程だが、目の丸の誇りを胸に必死でプレイしていきたい」と強調。